



# LEICA SL3

## LEICA SL3-S

### FIRMWARE UPDATE 4.0.0

#### NEW

- Wi-Fi 経由で、Adobe Frame.io への Camera-to-Cloud 接続が可能になり、静止画や動画（プロキシ動画）をクラウドに直接アップロードできるようになりました。メニュー項目接続設定から Leica FOTOS と Frame.io、両機能の設定が行えます。
- トラッキングアルゴリズムが被写体追尾中にフォーカスフレームのサイズと形状を自動的に調整することができるようになりました。より安定した信頼性の高い追尾が可能になりました。
- 人の目や顔などのオートフォーカス精度が AI モデルのサポートにより大幅に改善されました。
- AF モードのメニュー構成が簡略化され便利に：測距モード 多点 と スポット が、共通メニュー（ゾーン / 多点 / フレーム / スポット）に統合されました。AF 検出用の新メニューが、FN リストとコントロールセンターからでも利用可能に。AF 検出機能（人間（目/顔/体）および動物（鳥、犬、オオカミ、猫、大型ネコ科動物など））も拡張されました。
- Leica Look メニューにて新たに強度の設定が可能になりました。
- モニターのフレームレートが 30 fps もしくは 60 fps に設定できるようになりました。30 fps に設定すると、ライブビュー時の消費電力を削減することができます。
- 新メニュー項目 バッテリーの状態 にてバッテリー（型番：BP-SCL6）の状態が確認できるようになりました。
- ライカ SL3 に最大 241 MP で撮影し細部まで精細に再現可能なマルチショット撮影機能が搭載されました。
- 低ビットレートの動画形式、4:3（アナモルフィック）および 3:2 のアスペクト比も追加され、よりクリエイティブな表現が可能になりました。

JA

- アナモルフィックレンズを使用し撮影した場合、圧縮画像を補正し再生する機能を搭載しました。選択可能なデスクイーズ倍率: 1.25、1.3、1.33、1.5、1.6、1.65、1.8、1.85、2.0

## 改善機能

- これまでフラッシュ撮影時に（実際のISO値がプレフラッシュ時に初めて決定されるため）誤ったISO値がミニターとコントロールセンターに表示される問題を改善しました。本アップデートによる変更点：
  - フラッシュが接続されていて、撮影に使用する場合：モニターとコントロールセンターにオートISO値は表示されない
  - フラッシュが接続されているが、準備ができていないまたは使用しない場合：プレビュー値が表示される
  - フラッシュが接続されていない場合：オートISO値が通常通り表示される
- AFプロファイルの名称（ドイツ語/英語）を、より明確で一貫性のある用語に変更しました。
- 標準のフラッシュ設定がデフォルトでオートではなくオンに変更されました。
- EU無線機器指令 (RED) 第3条 (3) に準拠しました。バージョン3.1.1より古いファームウェアからのアップデートでは、カメラとアプリの再ペアリングが必要です。
- メニュー項目AF認識方式がコントロールセンターのデフォルト設定に追加されました。
- 再起動時の起動時間が大幅に短縮されました。
- 劣化または性能の低下したバッテリーを装着した場合、バッテリー状態の低下を示す警告メッセージが表示されるようになりました。
- 再生モード時に遠近補正機能がオンになっていることを示すアイコンが正しく表示されるようになりました。
- バッテリー（型番：BP-SCL4）使用時の機能制限に関する警告メッセージが修正されました。オプションでこの警告メッセージを「今後表示しない」様に設定もできるようになりました。しかし8週間ごとに、バッテリーの状態を知らせるために、自動的に再表示されます。メッセージは、カメラの電源を入れた場合にのみ表示され、スタンバイ時には表示されません。カメラをリセットすると、この設定もリセットされます。
- 録画を開始しても、以前に設定したオートフォーカスロックは解除されません。静止画モードから動画モードに切り換えた際も解除されず、フォーカス設定は維持されます。

- メニュー項目記録形式と圧縮が統合され、一つのメニュー項目（記録形式）から両方の設定ができるようになりました。
- グレー表示が改善：設定値がモニターとメニューに常に表示されるようになりました。

## トラブルシューティング

- SDカード/CFexpressカードが挿入されているのにもかかわらずメッセージ「**メモリーカードが挿入されていません。メモリーカードを挿入してください。**」が表示されたエラーを修正しました。メモリーカードが挿入されている場合にはこのエラーメッセージは表示されなくなりました。
- Sレンズのオートフォーカス機能を改善し、特にSL3-Sと組み合わせた場合はより信頼性が高くなり安定性が向上しました。
- テザーモードで撮影した場合（JPG+DNGに設定時）**Leica Content Credentials**データが保存されなかったエラーを修正しました。コンテンツ認証情報が両方のファイル形式で正しく保存されるようになりました。

## ファームウェア アップデート

ライカは、製品の機能の向上や不具合の改善に継続的に取り組んでいます。デジタルカメラでは多くの機能がファームウェアで制御されており、お買い上げの後でも機能を追加したり不具合を改善したりすることができます。本製品をユーザー登録された方には、最新ファームウェアのリリース情報を随時お届けいたします。

最新のファームウェアをダウンロードして、本製品をアップデートしてください。また、アプリ「Leica FOTOS」のユーザーは、ファームウェアのアップデート情報をアプリ内で自動的に受け取ることができます。

ファームウェアのアップデートは以下の方法で行うことができます。

- アプリ「Leica FOTOS」から（推奨）
- カメラメニューから

現在インストールされているファームウェアのバージョンを確認するには

- メインメニューで**カメラ情報**を選択する。
- 現在のファームウェアバージョンが表示されます。



ファームウェアのアップデート情報、アップデートに伴う改善内容や追加機能、およびカスタマー登録について詳しくは、以下のサイトからご覧いただけます。

<https://club.leica-camera.com>

## ファームウェアをアップデートする

ファームウェア アップデートを中断すると、カメラに重大かつ修復不可能な損傷を与える可能性があります。

ファームウェアのアップデート中には以下の事項を順守してください。

- ・ カメラの電源を切らない。
- ・ メモリーカードを取り出さない。
- ・ バッテリーを取り出さない。
- ・ レンズを取り外さない。

### メモ

- ・ バッテリー残量が十分でない場合は、警告メッセージがモニターに表示されます。バッテリーを充電してからファームウェアをアップデートしてください。
- ・ カメラ情報のサブメニューにて国別に承認登録マークや番号を確認することができます。

## 使用前の準備

- バッテリーを満充電し、カメラに入れる。
- メモリーカードに他のファームウェアが保存されている場合は、必要なないものを消去する。
  - ・ メモリーカードに保存されているすべての画像をバックアップしてから、カメラでフォーマットすることをお勧めします。  
(注意:データ消失! フォーマットするとすべてのデータが削除されます。元に戻すことはできませんのでお気をつけください。)
- 最新のファームウェアをダウンロードする。
- メモリーカードに保存する。
  - ・ ファームウェアファイルは必ずメモリーカード最上位階層に保存してください。下位階層では読み込みができません。
- メモリーカードをカメラに挿入する。
- カメラの電源を入れる。

## カメラのファームウェアをアップデートする

### 専用アプリ「Leica FOTOS」から

アプリ「Leica FOTOS」のホーム画面にてカメラのファームウェア・アップデート情報を受け取ることができます。

→ アプリ「Leica FOTOS」の指示に従う。

### メモ

- カメラのファームウェアのアップデートにはLeica FOTOSのバージョン4.8.0より新しいものが需要です。
- バッテリー残量が十分でない場合は、警告メッセージがモニターに表示されます。バッテリーを充電してからファームウェアをアップデートしてください。

### カメラメニューから

- 準備する。
- メインメニューで**カメラ情報**を選択する。
- **カメラ ファームウェアVer.**を選択する。
- **アップデートを開始**を選択する。
  - アップデートに関する情報とメッセージが表示されます。
- バージョン情報を確認する。
- **はい**を選択する。
- **はいまたはいいえ**を選択する。
  - アップデートが自動的に開始します。
  - 処理中は、LEDランプ(下)が点滅します。
  - 正常に完了すると、再起動を促すメッセージが表示されます。
- カメラの電源を入れなおす。

## レンズのファームウェアをアップデートする

ファームウェアのアップデートは、ライカSLレンズだけでなく、Lマウントアライアンスのすべてのレンズに行うことができます。

通常、カメラの最新バージョンのファームウェアとともにレンズ ファームウェアも同時にインストールされるため、手動で行う必要はありません。ファームウェアのアップデート中に装着されているSLレンズのファームウェアが自動的にアップデートされます。レンズを交換した際にアップデートが必要な場合は、カメラにメッセージが表示されます。

カメラのファームウェアアップデートに関する注意事項は、このファームウェアアップデートにも適用されます。

- 準備する。
- メインメニューで **カメラ情報** を選択する。
- **レンズ ファームウェアVer.** を選択する。
- **アップデートを開始** を選択する。
  - アップデートに関する情報とメッセージが表示されます。
- **バージョン情報を確認** を選択する。
- **はい** を選択する。
  - アップデートが自動的に開始します。
  - 処理中は、LEDランプ（下）が点滅します。
  - 正常に完了すると、再起動を促すメッセージが表示されます。
- カメラの電源を入れなおす。

## CAMERA TO CLOUD - FRAME.IO

Wi-Fi経由で直接「Frame.io」に接続できるようになり、静止画や動画（プロキシ動画）を迅速かつ安全にカメラからクラウドに直接アップロードすることが可能になりました。これにより、撮影した素材を撮影後すぐに加工したり、チームで共有したりすることができます。

Leica FOTOSとFrame.ioの両機能を管理できるようになった新メニュー項目接続設定から各種設定を行ってください。

- メインメニューで接続設定を選択する。
- Frame.ioを選択する。
- 希望するWi-Fiネットワークを選択する。

### 「Frame.io」に関する詳細情報：

#### 製品案内

<https://lmy.de/sGcjg>



#### チュートリアル動画

<https://vimeo.com/1143409148>



#### メモ

- ・ アプリLeica FOTOSもしくはFrame.ioのどちらかにしか接続できません。
- ・ プロキシ動画をアップロードするには、CFeカードとSDカードの両カードを挿入し、メニューの「動画プロファイル」でプロキシ動画をオンに設定する必要があります。

# LEICA LOOK

静止画と動画のプロパティは様々なパラメーターにより変更が可能です。これらはLeica Lookのプリセットにて設定することができます。さらに、専用アプリLeica FOTOSからその他のLeica Lookをダウンロードして使用することもできます。

プリインストールされているLookファイル：

- Standard
- Vivid
- Natural
- Monochrome
- Monochrome High Contrast

→メインメニューでLeica Lookを選択する。

→希望するプロファイルを選択する。

## メモ

- ・動画ガンマの設定がオフの場合のみLeica Lookが使用可能です。それ以外の設定の場合は使えません。

## LEICA LOOKをカスタマイズする

パラメータはプリインストールされている「Core Looks」シリーズのすべてのプロファイルで設定が可能です。

→メインメニューでLeica Lookを選択する。

→希望するプロファイルを選択する。

→カスタマイズを選択する。

Standard/Monochromeを設定する場合:

→コントラスト/ハイライトーン/シャドウーン/シャープネス/彩度を選択する。

→希望のレベルを選択する。

(-2、-1、0、+1、+2)

Vivid/Natural/Monochrome High Contrastを設定する場合:

→強度/コントラスト/ハイライトーン/シャドウーン/シャープネス/彩度を選択する。

→希望する強度またはレベルを選択する。

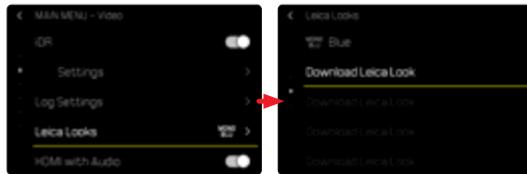
(100%-100%/-2、-1、0、+1、+2)



## LEICA LOOKをダウンロードする

専用アプリLeica FOTOSからその他のLeica Lookをダウンロードして使用することができます。

- メインメニューでLeica Lookを選択する。
- Leica Lookをダウンロードするを選択する。



### メモ

- 追加でインストール可能なLeica Lookプロファイルではカスタマイズできるパラメータに制限があります。

## LEICA LOOKをリセットする

- メインメニューでLeica Lookを選択する。
- 復元を選択する。



### メモ

- カスタマイズしたLookファイルのみ変更前の状態に復元することができます。

## AF測距方式

オートフォーカス設定時は、異なる測距方式が使用できます。ピントが合った場合AFフレームが緑色に変わり、ピントが合わなかった場合はAFフレームは赤色で表示されます。

メニュー項目**AFモード**から、フォーカスマードフレーム/スポット、ゾーン/多点、トラッキングが、メニュー項目**AF認識方式**では**人認識**と**動物認識**が選択できます。これにより、測距方式と被写体認識方式を柔軟に組み合わせることができます。



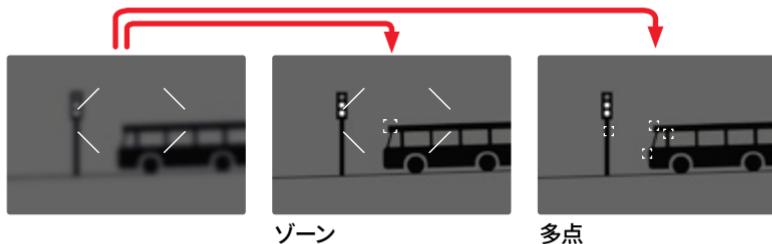
- メインメニューで**AFモード**を選択する。
- 希望する設定を選択する。  
(フレーム/スポット、ゾーン/多点、トラッキング)

### メモ

- オートフォーカスでの撮影時に、ピントが合わないことがあります。
  - 撮影したい被写体までの距離が近すぎるまたは遠すぎるとき
  - 被写体が暗い場所にあるとき
- モニターをタップして測距点/AFフレームの位置を移動させることができます。

## ゾーン/多点測距

撮影範囲内の多くのポイントにピントを合わせることができます。範囲は、AFフォーカスエリアと同様にサイズを変更することができ（「AFクイック設定の呼び出し」を参照）、焦点範囲を柔軟に決めることができます。この機能は特にスナップショットに最適で、人物認識機能と組み合わせると非常に効果的です。



## フレーム/スポット測距

測距点/AFフレームが設定されている範囲内で測距が行われ、ピントが合います。スポット測距時は1つの十字、フレーム測距時は小さなAFフレームが表示されます。スポット測距は、きわめて小さい部分にピントを合わせたい場合に使用します。設定可能な最小のフレームサイズはスポット測距枠と同様です。

フレーム測距は、一部の狭い範囲内にピントを合わせたい場合に使用します。

これらの測距方式は、ピントを合わせたい被写体が画面中央にない場合に連続して撮影を行う際、被写体にピントを合わせたまま撮影ができるのでとても便利です。測距点/AFフレームの位置を移動させることができます。

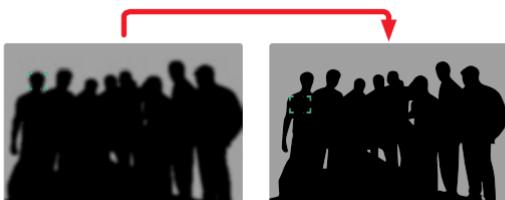
## 自動被写体認識機能

自動被写体認識機能により、カメラは人物や動物などさまざまな被写体を自動的に認識し、目、顔、体などに焦点を合わせます。被写体が動いたり、一時的に隠れたりした場合でも、メインの被写体に確実に焦点を合わせ続けることができるなど、あらゆる撮影状況において正確かつ継続的な追尾が可能です。

→ メインメニューでAF認識方式を選択する。

→ 希望する設定を選択する。

(オフ、人(瞳/顔/全身)、Person 人(瞳/顔)、動物(全身)、動物(瞳/全身))



顔認識時に目が検出された場合、その瞳に焦点が合います。複数の目が検出された場合は、どの目に焦点を合わせるかを選択することができます。現在選択されている瞳がハイライト表示されます。

→ ジョイスティックで希望する方向に移動させる。

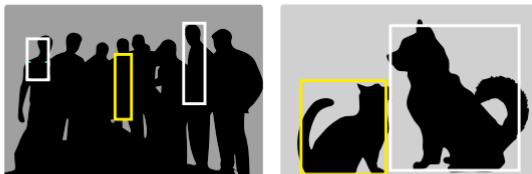


## AFモードとAF認識方式の組み合わせ

ゾーン/多点測距方式では、測距範囲内で検出されたすべての被写体の中からピントを合わせたい箇所を選択することができます。

→ジョイスティックで希望する方向に移動させる。

- ・白枠は認識された被写体を示し、黄色枠は選択した被写体を示します。

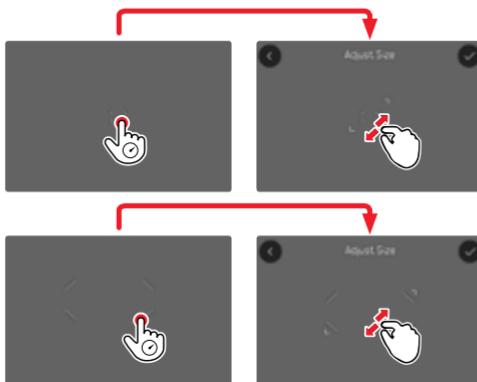


## AFクイック設定

いくつかのAF測距方式ではフレームサイズをすばやく変更することができます。ライブビュー画像は、各種設定の中も表示されます。

### AFクイック設定を呼び出す

- モニターをロングタップ（ホールド）する。
- ・すべての撮影補助表示が非表示になります。
  - ・測距方式が「フレーム/スポット/ゾーン/多点」に設定されている場合、フレームの枠が右上と左下に表示されます。



## アナモルフィックレンズ用補正プロファイル

アナモルフィックレンズは、被写体をセンサー上で水平方向に圧縮（スクイーズ）することで、特に広い画角を捉えることができます。この手法により、典型的な映画用フォーマットでの撮影が可能になります。

新しいレンズプロファイルは、画像の圧縮をカメラ内で直接補正するため、プレビュー画像がファインダーやモニターに正しいアスペクト比で表示されることで撮影中に被写体を正確に評価することができ、アナモルフィックレンズを使用したプロフェッショナルな映画制作に最適です。

- メインメニューで **カメラ設定** を選択する。
- **レンズプロファイル** を選択する。
- 希望する設定を選択する。  
  (1.25、1.3、1.33、1.5、1.6、1.65、1.8、1.85、2.0)

### メモ

- 本機能はマニュアルアナモルフィックレンズを動画モードで使用時にのみ有効です。
- オートフォーカスレンズが装着されている場合、メニューはグレーで表示され、設定ができません。本機能を有効にするには、まずマニュアルアナモルフィックレンズを装着してください。

